



宮崎大学

UNIVERSITY OF MIYAZAKI

大学案内 2020

世界を視野に
地域から始めよう



「世界を視野に 地域から始めよう」

宮崎大学長 池ノ上 克



宮崎大学には教育学部、医学部、工学部、農学部、および地域資源創成学部の5学部があり、活動を続けています。地域資源創成学部は人文・社会科学と農学・工学分野を融合した特色ある新しい学問分野です。文系・理系の指導教員を配置して地域の資源を捉える力と社会での実践力を備えるための教育を行います。

大学には今、機能別分化と個性化が必要です。即ち宮崎大学らしさが求められています。本学のスローガン「世界を視野に 地域から始めよう」はまさにこのことを表しています。

宮崎大学の機能別分化と個性化の特色は農学工学総合研究科博士後期課程、教職大学院、医学獣医学総合研究科などの設置にも表れています。異なる学問分野が融合した独特の研究と教育そして地域との連携が築かれています。生命科学、環境科学、食の科学、エネルギー科学など本学の特色を示す研究が進み、宮崎大学らしさを発揮しています。

宮崎大学型若手研究リーダー育成モデルは高い外部評価を受けながら進行しています。トロイカ方式の独特の指導体制をしき、優れた成果を上げた研究者にはテニユア教員への採用につながる制度です。

本学では女性活躍・人材育成担当理事を設け、学生や職員を含む本学機能の全域にわたり女性の活躍が一層推進するように努めています。

大学の果たすべき役割は教育、研究、社会貢献であることは明らかです。

本学のCOC (Center of Community) の事業は、各学部が協力して継続的な成果を上げ、COCプラス事業へと展開されています。県内の大学等とも連携して更に拡充したものとなっています。医学部附属病院でも地域総合医療の実践的な教育と地域への医療貢献が進行中です。

宮崎大学は地域社会に根付き、地球規模で自らをみつめてグローバルに動くことのできる人材を育成して社会に輩出し、輝き続ける大学でありたいと考えて、日々取り組んでいます。

沿革





CONTENTS

宮崎大学の教育	3
キャリア支援	4
OB・OGメッセージ	5

教育学部

学校教育課程	
■小中一貫教育コース 小学校主免専攻	9
■小中一貫教育コース 中学校主免専攻	11
■教職実践基礎コース	13
■発達支援教育コース 子ども理解専攻	15
■発達支援教育コース 特別支援教育専攻	17

医学部

■医学科	21
■看護学科	23

工学部

■環境応用化学科	27
■社会環境システム工学科	29
■環境口ポテックス学科	31
■機械設計システム工学科	33
■電子物理工学科	35
■電気システム工学科	37
■情報システム工学科	39

農学部

■植物生産環境科学科	43
■森林緑地環境科学科	45
■応用生物科学科	47
■海洋生物環境学科	49
■畜産草地科学科	51
■獣医学科	53

地域資源創成学部

■地域資源創成学科	57
-----------	----

大学院	59
キャンパスマップ	61
年間行事・サークル活動	63
学生生活	64
資料請求・出願方法	65



教育方針

■教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

- 高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。
- 生命や環境保全の科学に親しむとともに、広く自然や社会に触れ、現場から学ぶ態度を育成する。

2. 社会性・国際性の教育

- 社会の多様な要請に対応して、社会の発展に積極的に貢献できる課題解決能力を育成する。
- 柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本語による記述・発表の能力や外国語によるコミュニケーション能力を育成する。

3. 専門性の教育

- それぞれの専門分野に関する基礎的知識を修得し、それらを応用できる能力を育成するとともに、専門分野への深い興味を育み、課題探求及び解決能力、自発的に学習する能力を育成する。
- 新たな知の創造につながる専門教育を実施し、総合的判断力を育成する。

■ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)

宮崎大学では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

- 1.社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 2.自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 3.相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
- 4.課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。
- 5.学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

■カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

宮崎大学では、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部を置き、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力を備えた人材を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

【教育課程の編成】

- 1.学生の修得すべき学修成果を重視し、教養教育と専門教育の区分にとらわれず、体系的な学士教育課程を編成する。
- 2.基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育カリキュラムとして、導入科目(大学教育入門セミナー、情報・数量スキル、外国語コミュニケーション)、課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)と学士力発展科目を設置する。
- 3.専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために、学科・課程専門科目を設置する。
- 4.地域を志向した教育・研究・地域貢献を推進するため、学士課程に地域の理解と課題解決に取り組む科目を設置する。
- 5.専攻分野を超えて学際的な視点を養う科目を設置する。
- 6.獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を育成するために、卒業研究等の科目を設置する。

【教育内容・方法】

- 1.各授業科目について、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、事前・事後の学習の指示、ディプロマ・ポリシーとの関連を明記し、周知する。
- 2.基礎教育カリキュラムの導入科目、課題発見科目において、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施し、初年次から学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるようにする。
- 3.専門教育において、知識・理論と実践を融合し、主体的に考える力を養うために、講義、演習、実験、実習、実技などの授業形態に加えて、多様な教育方法を取り入れて指導を行う。
- 4.学士課程教育において、地域の理解を深める題材を取り入れ、地域の課題解決を実践できるようにする。

【点検・評価】

- 1.GPA制度を導入し、教育の質保証に向けて点検・評価・改善を行う。
- 2.成績評価基準・方法に基づき、多様な評価方法を用いて厳格な評価を行う。
- 3.学生は自己の学修の振り返りを行い、教員は学生の自己評価に基づいて指導を行う。
- 4.ディプロマ・ポリシーに基づく学生の学修過程を重視し、在学中の学修成果の全体を評価する。

■アドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の養成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

- 1.本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
- 2.身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
- 3.身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

- 1.求める学生像に沿って、多様な入試方法により多面的・総合的に選抜する。
- 2.客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学の教育 —宮崎に学び 未来を切り拓く—

宮崎大学はグローバルデザイナーを育成

宮崎大学が掲げる教育のスローガンが「宮崎に学び、未来を切り拓く人材（グローバルデザイナー）の養成」です。宮崎を学びのフィールドとしてさまざまな経験を通じて世界の変化を学び、豊かで活力ある社会の創造に向けてチャレンジする行動力のある人、それがグローバルデザイナーです。

能動的学修（アクティブラーニング）へ転換

学生中心の双方向の授業を実施することによって、学生一人一人が自ら考え、答えのない課題に解を見いだしていく学修（アクティブラーニング）へ転換し、学士課程教育では多くの科目においてアクティブラーニングを実施します。

（注）学士課程教育とは…学部レベルの教育のことをいいます。学士という学位を与える課程（プログラム）を中心とした概念です。

基礎教育と専門教育との連携

それぞれの学科・課程は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）によって育成すべき資質・能力・人材像を明確に定義しており、すべての学科・課程はその学習目標が達成できるよう基礎教育と専門教育が効果的に関連づけられたカリキュラムを編成しています。

基礎教育のラインナップ

知識とスキルの基本を身につける。

大学教育入門セミナー

大学生としての生活や主体的な学習活動を始めるのに必要な基礎的な知識・スキルを修得すること、所属する学科・課程の教育内容や将来のキャリア形成について理解すること、日本語によるライティングの知識・スキルを協同学習によって修得すること、などを目指しています。少人数教育とアクティブラーニングが特徴です。

情報・数量スキル

コンピュータの概念、情報セキュリティ、情報倫理、情報の収集・分析の方法、表やグラフによる表現、統計に関する基礎的知識について理解を深めることを目指しています。

外国語コミュニケーション

専門分野で実際に使える英語運用能力を修得すること、英語以外の言語の初歩について学習すること、異文化を理解すること、などを目標としています。

学際的な学びで視野を広げる。

学士力発展科目

この科目は、多様な学習経験を通して幅広い知識を修得すること、基礎レベルの科目で身につけた知識・スキルをさらに発展させること、などを目指します。

自ら課題を発見し、解を見いだす。

専門教育入門セミナー

学部の専門分野で主体的な学習を始めるのに必要な基礎的な知識・スキルを修得すること、専門分野で解決すべき課題を発見し、それを解決するための手法を学ぶこと、専門分野における倫理的問題について理解すること、などを目指しています。少人数教育とアクティブラーニングが特徴です。

環境と生命

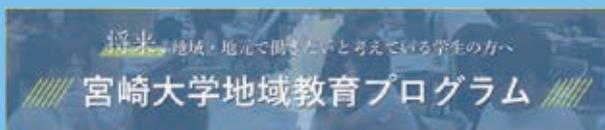
環境と生命の関係を理解すること、環境問題を系統的に考察すること、などを目指しています。環境破壊を防止するために私たちは何をしなければならぬのかについて議論します。環境分野の授業では少人数クラスにアクティブラーニングを取り入れます。

現代社会の課題

現代社会の諸問題について具体的事例を通して学びます。特にここでは、宮崎大学の教育全体を貫く課題意識を形成し、学習した知識を社会の具体的な場面に応用する方法について考えます。少人数教育とアクティブラーニングが特徴です。

数理・データサイエンスを活かした地域産業人材の育成に向けたカリキュラム・教材の開発事業

Society5.0で求められる数理的思考力を身に付けた人材の育成を図るため、授業配信システムを駆使した電子教材や演習を導入することで基礎教育カリキュラムを充実させ、数理・データサイエンスを活かした地域産業人材育成プログラムを開発しています。



宮崎大学では地域で活躍するために必要な知識や能力を興味に応じて、どの学部でも学べるプログラムがあります。

2つの資格・認定を
取得可能

宮崎の産業を広く学び、地元で就職したい
みやざきCOC+産業人材認定証

地域を学び、そのリーダーになりたい
地域活性化・学生マイスター



キャリア支援

キャリア支援・就職支援

キャリア支援・就職支援

①キャリア支援

インターンシップ支援



インターンシップ合同説明会

キャリア支援及び就職に対してのミスマッチを防ぐことを目的として、インターンシップの支援を行っており、複数の企業・官公庁によるインターンシップ合同説明会を実施しています。また、本学の学務情報システムで、各企業・官公庁から届いたインターンシップの案内を検索することができます。

②就職支援

就職ガイダンス



就職ガイダンス

就職活動に役立つ面接対策やエントリーシートの書き方、自己分析、職務適性テスト、業界研究等のセミナー・ガイダンスを時期に応じて開催しています。学生の皆さんが参加することで、その時期に応じた対応を学び、就職活動を進められるようにしています。

大学独自の会社説明会



宮崎大学合同会社説明会

企業選択に役立てて頂くために、毎年3月に合同会社説明会を開催しています。例年多くの企業の参加があり、学生が直接企業の人事担当者から、話を聴くことができます。この他に、単独会社説明会も随時開催し、より詳しく会社の情報を知ることができます。また、公務員就職希望者のために、公務員説明会も実施しています。

とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム



とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム
成果発表会

本学独自のキャリア支援として「とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム」を行っています。本プログラムは、将来、社会でリーダーとしての活躍を期待される宮大生の企画、運営そして実施する能力を高めるとともに、学生ならではの自発的かつ積極的な活動を通して、宮崎大学から発信した活性化の波を広くつなげていくことを目的としています。

個別に応じた就職支援



個別に応じた就職相談

豊富な経験と専門的な知識を持ったキャリアアドバイザー、ジョブサポーターによる相談体制を設けており、一人ひとりの個性や希望に沿った就職先が見つかるようきめ細かい支援を行っています。また、集団面接やグループディスカッションなど、実践的な実技指導も充実しています。

企業訪問、官公庁訪問の職場見学バスツアー



職場見学バスツアー

働く方々の生の声を聞き、学生生活において普段味わうことができない企業の雰囲気や地域・地元企業の魅力に触れ、幅広い業種研究の参考などに役立ててもらうことを目的として、例年夏季休業期間に県内の企業及び官公庁の職場見学バスツアーを行っています。

主な就職先企業・団体 (平成30年度卒業生実績)

県外企業・団体

パナソニック、日本電気、カルビーポテト、日本食研ホールディングス、京セラ、日産車体、富士電機、NTTデータアイ、ANAシステムズ、AIRDO、旭化成、東京エレクトロンデバイス、日立造船、名村造船所、三菱重工工作機械、TIS西日本、旭有機材、NEXCO西日本、五洋建設、積水ハウス、大成建設、日鉄住金P&E、アイシンエイタブリュ、NOK、マックスバリュ九州、ヤマエ久野、西部ガス、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、コスモス薬品、三菱電機エンジニアリング、三井ハイテック、JFEプラントエンジニアリング、ダイフク、阪急阪神百貨店、明治安田生命、イー・アンド・エム、東芝システムテクノロジー、JA全農、全酪連

県内企業・団体

宮崎銀行、宮崎太陽銀行、宮崎放送、宮崎ガス、宮崎交通、宮崎観光ホテル、フェニックスリゾート、アラタナ、ケーブルメディアアワイワイ、南日本酪農協同、ラピスセミコンダクタ宮崎、ホンダロック、国立大学法人宮崎大学、ミヤチク、JA宮崎経済連、ヤマエ食品、エビス商事、東郷メテイクット、三桜電気工業、晃和コンサルタント、興電舎、吉川アールエフセミコン、MANGO

公務員

防衛省、国土交通省九州地方整備局、農林水産省植物防疫所、経済産業省九州経済産業局、厚生労働省宮崎労働局、宮崎地方検察庁、林野庁、水産庁、国土地理院、宮崎県庁、宮崎市役所、都城市役所、延岡市役所、川南町役場、綾町役場、大阪府庁、福岡県庁、熊本県庁、長崎県庁、大分県庁、鹿児島県庁、兵庫県庁、広島県庁、福岡県警察、佐賀県警察、長崎市役所

教員

宮崎県小学校、宮崎県中学校、宮崎県高校、宮崎県特別支援学校、私立聖心ウルスラ学園高等学校、私立日章学園中学高等学校、私立鵬翔高等学校、福岡県小学校、熊本県小学校、長崎県小学校、大分県小学校、山口県小学校、浜松市小学校、熊本県中学校、長崎県中学校、北九州市中学校、愛媛県中学校、佐賀県特別支援学校、大阪体育大学浪商幼稚園、大分市公立幼稚園

順不同、敬称略

学生生活支援課キャリア支援係

エントリーシートの書き方、面接対策、SPIなどの採用試験対策、ビジネス系の雑誌、公務員対策の問題集等の就職活動に役立つ書籍の閲覧・無料貸出を行っています。加えて、マナーや面接についてのDVDを視聴することができるパソコンも用意しています。学生の皆さんは自由に利用することができます。また、就職相談や会社説明会等の申込も行っています。





小林市立三松中学校 教諭

寶田光貴さん

〔平成28年3月 教育文化学部学校教育課程
中学校教育コース保体主専攻
小学校副専攻卒業〕

かけがえのない学びに出会える場所

自分にはないたくさんの魅力をもった仲間たちに出会えた4年間。私にとって宮崎大学で過ごした4年間は、いつも笑顔を絶やすことなく、楽しく過ごすことのできた、かけがえのない時間でした。

私が本格的に学校の先生を目指し始めたのは、高校生の頃でした。その頃の私は、体を動かしながら子どもたちと関わる中で、子どもたちに運動やスポーツの楽しさを伝える仕事に就きたいという夢があり、「中学校保健体育科の教員」という職を選びました。

宮崎大学で過ごした4年間では、日々の講義や学校現場で行われる教育実習を通して、教員に必要な専門的な知識はもちろん、社会人として働いていく上で大切なことを多く学ばせていただきました。

現在、学校現場でたくさんの子どもたちと向き合う中で、運動やスポーツを通して自分の思いや考えを丁寧に伝えることを大切にしながら過ごしています。時に落ち込むこともありますが、そんな時元気を与えてくれるのは、いつもそばにいる子どもたちの何気ない言葉や子どもたちが見せる笑顔です。元気をもらう度に、「子どもたちのために、もう一踏ん張り!」と頑張ることができています。大学生活で学んだことや経験したことは、自分が働いていく上で糧になっているということを日々実感しながら過ごさせています。

高校生の皆さん!ぜひ宮崎大学で多くの人たちと出会い、たくさん笑い、たくさん学んで、充実した大学生活を手に入れてくださいね!



宮崎大学医学部附属病院
救命救急センター医員

島津志帆子さん

〔平成28年3月 医学部医学科卒業〕

まだ見ぬ未来の仲間へ

私が勤務する宮崎大学救命救急センターには交通外傷、転落外傷、心筋梗塞、脳卒中など、様々な患者さんが運ばれてきます。一刻を争う重症患者の場合には、ドクターヘリで現場へ出動します。患者さんの状態を見極め、適切な判断と迅速な対応が求められます。そして時には内科・外科・整形外科・放射線科・麻酔科など他科と協力して患者さんの診療にあたります。一人では助けられない命を、周囲の力を借りてみんなで助けに行く、まさに究極の「チーム医療」です。私が救急科を選んだ理由の一つがここにあります。

宮崎大学には医療への熱い気持ちを持つ先輩医師がたくさんいます。皆さんも大学でたくさんの人と出会い、人の輪を広げ、大きく熱く成長してください。そしていつの日か、この宮崎の地で「チーム医療」の一員として、ともに切磋琢磨できる日を楽しみにしています。



それぞれの夢に向かって、努力し道を切り拓いてきた先輩たちから、夢を追うみなさんに向けた応援メッセージです。



出光ユニテック株式会社
商品開発センター 第一開発課

麻生知里さん

平成23年3月 工学部物質環境化学科卒業
平成25年3月 大学院工学研究科修士課程修了



富士食品工業株式会社
酵母開発本部 素材開発部

村橋太樹さん

平成28年3月 農学部応用生物科学科卒業
平成30年3月 大学院農学研究科修士課程修了

広い人脈を作り、様々なことにチャレンジできる場

宮崎大学は様々なことに挑戦する機会を与えてもらえます。大学3年生からは研究室に配属されました。研究は大変でしたが、仲間と切磋琢磨しあいながら取り組むことで、信頼関係を築くことができました。また、国内外問わず学会発表にも挑戦することができました。

現在、私は食品包装の研究開発を行っています。

高校・大学生活では、卒業したら「何となく働くだらうなあ」としか思っていませんでした。今は大学での専門分野とは直結していない仕事をしています。しかし、大学時代に得た経験があるからこそ、何事にも挑戦する気持ちを持って、仕事に取り組んでいます。

皆さんも、これからワクワクした大学生活が始まります。様々なことに挑戦し、仲間と互いに励まし合いながら素敵な大学生活を手に入れてください。



大学での経験が将来につながる

現在、私は主に調味料を取り扱っている食品会社で働いています。私が食品会社に興味を持ったのは大学3年生の頃でした。大学に入学した頃は、別の職業に興味を持っており、食品会社への就職を考えてはいませんでした。しかしながら、私が所属していた学科は土壌、食品、微生物などの幅広い分野を学ぶことができ、その中でも食品製造について学び、学生実験などを経験して食品分野に興味を持ちました。

私は、大学で何を経験し、何に興味を持つことができるかが重要であると思います。これから大学生になるみなさんには積極的に様々な経験をさせていただいて、多くのことを知り、興味を持っていただきたいと思います。

